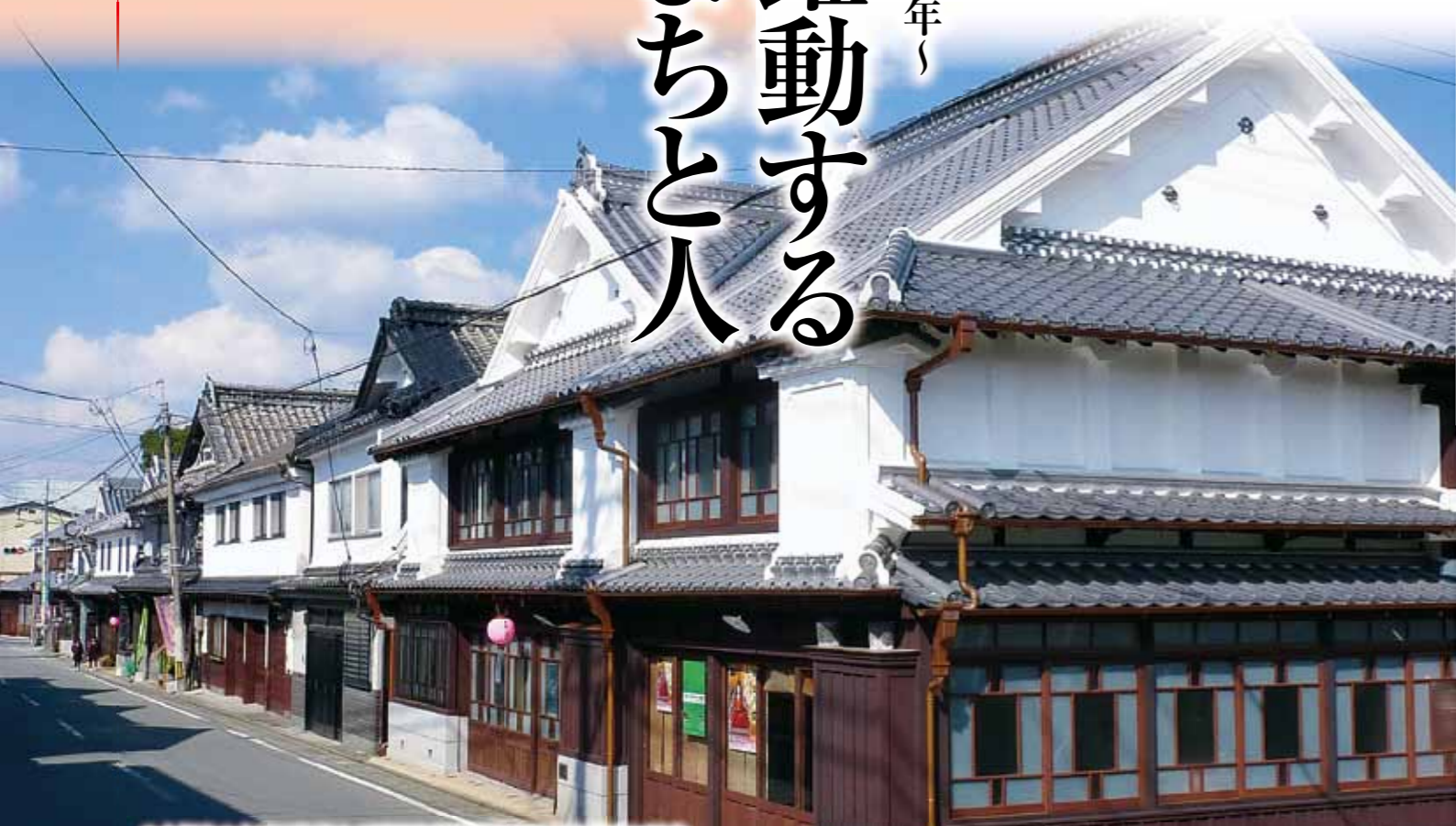


# まちと人 躍動する

平成10年



八女福島の白壁の町並みが重要伝統的建造物群保存地区に選定  
平成14年（八女）

平成10年代になると、伝統的な町並みや地域のコミュニティを見直そうという動きが起きました。平成14（2002）年には、「八女福島の白壁の町並み」が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、「あかりとちゃっぼん」「雛の里・八女ほんぼりまつり」「白壁ギャラリー」など、町並みを舞台にしたイベントも活況を呈してきました。平成13（2001）年には、10人もの職人の手作業で作られる「八女提灯」が伝統的工芸品に指定されました。

平成11（1999）年に、黒木町の人形浄瑠璃の公演を行う「旭座人形芝居会館」、平成12年に、矢部村に5年ごとに奉納される神事芸能、浮立を紹介する「八女津媛浮立館」が開館するなど、伝統行事を継承する動きも盛んになりました。

一方、平成10（1998）年、八女市に地ビール工房などを備えた「べんがら村」、平成17年、立花町には地元生産者による食材が充実した「道の駅たちばな」、平成18（2006）年、矢部村に山村留学センター「おおそま自然の家」が開館するなど、にぎわいを創出する施設や地域交流施設も数多く誕生しました。平成18年には、八女市と上陽町が合併し、新生八女市が第一歩を踏み出します。



八女提灯が国の伝統的工芸品に指定 平成13年（八女）



旭座人形芝居会館竣工 平成11年（黒木）



池の山荘に星の温泉館「きらら」が開館 平成13年（星野）



とびうめ国民文化祭上陽町絵本大会 平成16年（上陽）



道の駅たちばなオープン 平成17年（立花）



八女津媛浮立館が開館 平成12年（矢部）



脆大橋完成 平成14年（上陽）



国道442号竹原峠道路、12月に全線供用開始 平成17年（矢部）



上陽町が八女市と合併 平成18年（上陽）